

平田図書館・生涯学習センターの今後について（要約）

日時：11月25日（木）19：00～20：30
11月28日（日）10：00～11：30
場所：ふるさと会館 会議室

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 説明事項
 - (1) 平田図書館・生涯学習センターの今後について
 - (2) 海津市デジタル図書館の開設について
 - (3) 平田図書館・生涯学習センターのリニューアルに伴う新しいこども園の開設（予定）について
 - (4) やすらぎ会館のリニューアルに伴う子育て支援施設の設置（予定）について
4. 質疑応答
5. 閉会

11月25日（木）出席者数 10名

質疑応答

発言者	内容
参加者A	社会福祉法人真人舎はどのような会社か。今後どのように教育委員会に関わっていくのか。
こども課長	東江認定こども園と秋桜こども園を運営している。愛知県内で5園を運営している。資金的には問題ないことを確認している。 教育委員会としては、運営等の指導・監督を行っていく。
参加者A	真人舎を選択した理由は。
こども課長	2事業者からの応募があり、保護者や学識経験者等で構成される公私連携型保育所等選定評価委員会において、プロポーザル提案を審査した。
参加者B	平田図書館にある蔵書の数と、こども図書館に置く蔵書数は。図書館、生涯学習センターの利用者数は。海津市内に一般図書が置いてある図書館、施設は何か所あるか。平田図書館の図書は海津図書館に移設されるのか。
社会教育課長	平田図書館の蔵書数は、一般書 58,984 冊、児童書 29,363 冊、計 88,347 冊。貸出利用者は令和元年度 18,894 人、1日平均 67 人。生涯学習センターの利用は、令和元年度 188 件、3,211 人。蔵書は、海津図書館、平田

参加者 B	<p>図書館、南濃図書館（休館中）の3館。</p> <p>いろいろな年代の方が利用する。高齢者など、交通手段がない方には不便をかける。平田町に居住している方の利便性を損なうことはいかなものか。海津市から人が流出するのはそういった市民サービスにも問題があるのではないか。</p>
市長	<p>新しいこども園を設置して、それと連携する形でやすらぎ会館を子育て支援の拠点としていく。たくさん子どもたち、子育て世代の方が集って、子育てに関する悩みや相談なども一緒に応じていけるような、子育て世代のエリアを作りたい。ご不便を感じる方はたくさんあると思うが、それ以上に市の未来にとって利益があることだと考えている。</p>
参加者 A	<p>真人舎が運営する新しいこども園は、海津町も南濃町も利用できるということによいか。</p>
こども課長	<p>入園に関してエリアは定めていない。希望があれば可能である。</p>
参加者 A	<p>市内にいくつか保育園があるが、競合させることになり運営が難しいところも出てくると思う。</p> <p>生涯学習センターの2階にホールがあるが、その運用は真人舎が行うのか、一般に開放されるのか。</p> <p>デジタル図書館については、書数が少なすぎる。サブスクリプションで読み放題というサービスがあるが、例えば海津市がYahoo等と契約して、市民が様々なジャンルのものに触れることはできないか。せっかくなら他の市町に負けないようなサービスを考えていただきたい。</p>
市長	<p>民間の自由な競争にはなっていくが、そのシワ寄せが子育て世代にいつてはいけないので、他の園に転園していただくなど、市としても責任をもって取り組んでいく。</p> <p>デジタル図書館については、1月から開始できる数量として予算を確保したところ。今後、予算が認められるのであれば蔵書数を増やしていきたいという思いはある。</p>
こども課長	<p>生涯学習センター2階のビデオシアターも含め、真人舎の管理となる。地域とのふれあいの活動も期待しているところ。</p>
参加者 C	<p>どのくらいの園児を受け入れることができるのか。</p>
こども課長	<p>公募に際して定員を125名としている。</p>

参加者B	こども園の改修は、海津市も負担するのか。
こども課長	総工事費は2億円を見込んでいる。うち2分の1が国費、4分の1が市と事業者の負担となる。
参加者B	今尾認定こども園の取り壊しはいつ頃か。跡地は更地にして売却するのか。
こども課長	計画どおりに閉園となれば速やかに解体を進める。現在の今尾認定こども園の東側、ふれあい会館前に駐車場があるが借地となっていることから、借地を返却し、今尾認定こども園跡地を小学校の駐車場にすることを検討している。

11月28日（日）出席者数8名

質疑応答

発言者	内容
参加者D	ワークショップとは何か。他の自治体でも行っているのか。
企画財政課長	参加者が意見を出し合い、意見の集約をしていく作業のこと。近隣自治体でもそういった手法は取り入れている。
参加者E	福社会館はどうなるのか。避難場所にもなっている。
市長	福社会館ではなくなって、子ども子育て施設としてリニューアルする。避難場所であることは承知しており、今後検討をしていく。
参加者E	どのようにリノベーションするのか。
市長	施設の内容については、市民の皆さんに意見をいただいて、議論をしていただきながら進める。
参加者E	当説明会に、子育て支援に関心のある人が多く参加されるのかと思っていた。なぜ、自由参加にしなかったのか。
企画財政課長	事前に申し込みをいただくのはコロナウイルス感染症の対策のためであり、参加者が増えた場合は、会場の変更を予定していた。また申込人数が少なかったためSNS等でも周知した。
参加者E	図書館の司書や管理運営に従事する職員達に相談していないのはなぜか。 平田図書館の図書はどこに置くのか。
社会教育課長	関係職員には、図書館定例会の際に周知しているところ。 図書については、令和4年3月31日に閉館予定となっているため、ふるさと会館の大ホールに仮置きする。
参加者F	海津図書館、平田図書館のそれぞれの蔵書数や利用数などを比べてみても平田図書館はしっかり利用されている。なぜ、平田図書館を候補地に当てたのか合理的な説明がなかった。また、パブコメの際に、アリーナ計画があったが、どうなったのか。 こども園は令和5年、こども施設は令和6年の予定としているが、本来は、こども園と新しいこども施設をじっくり議論したうえで、オ

	<p>ープンを同時に進めれば合意も得られるのではないか。これは不手際であると思うので率直に認められてはどうか。言い訳せず、新しい施設に、広く意見を聞くということをやっているといかないといけない。</p>
<p>市長</p>	<p>ご指摘の通りである。こども園、こども施設は同時にスタートできることに越したことはないし、反省すべきことと考える。真摯に反省し、やすらぎ会館のリニューアルを良いものにして、このエリアを魅力あるものにしていく、そのために最大限取り組んでいく。</p> <p>アリーナについては、財政再生プログラムからも削除してあり、計画はない。</p>
<p>参加者 E</p>	<p>仮置きすると言われたが、書籍はやすらぎ会館に入れるのか。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>児童書は、やすらぎ会館に入れる。一般書は海津図書館に入れる。ただし、全部は入りきらないのでリサイクルをしながら移動させる。そのためにデジタル図書館を実施する。</p>
<p>参加者 E</p>	<p>年配者には厳しいのではないか。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>支所にて配本サービスを行う。</p>
<p>参加者 E</p>	<p>図書館に行くのは、そこで本を見つける楽しみがある。そういう楽しみがなくなる。</p>
<p>参加者 F</p>	<p>図書館は、読み聞かせとか、絵本とか、交流の場でもある。また、利用者は近隣の方たちである。子どもは行動範囲が狭い。だから、図書館は各町にあった。</p> <p>図書館は、絵本で遊ぼうなど市民活動の舞台でもある。残念ながら廃止することが決められているので、今後、子どもの施設としてどのように生かしていくのか、しっかりやらなければならない。</p> <p>また、図書館は本を読むだけでなく、学習の場を提供している。子どもたちは夏休みなど、図書館で勉強している。子育て世代に選ばれるまちにするというのであれば、子どもたちが夏の暑い日や寒い日、休みの日に、安全に過ごせる空間を身近なところに置いてほしい。図書館という名前かどうかは別として、1回使うのに事前申込をして、利用料を払って、親が同席しなければできない学習コーナーというのはいかなるものか。誰も使わない、使えない状態にしている。</p> <p>子どもたちが気軽に使える安全な学習施設を設けていただきたい。ただ、平田に大きな施設を作っても、海津・南濃の子どもらは使えない。</p>

<p>市長</p>	<p>海津、南濃に施設のようなものを作るといふ訳にはいかないので、既存の施設等で使いやすい場を設けていきたいと思う。</p>
<p>参加者G</p>	<p>子どもたちが学習できる場所を作るといわれたことは期待している。</p> <p>今すぐにでも学習する施設には wi-fi を整備していただきたいと思う。</p> <p>やすらぎ会館は高齢者の福祉施設となっているが、利用率はどうなっているか。利用者への対応は。</p> <p>予定、案、検討、とかの表現は、財政の面とか、市民の理解の面で慎重に進めていきたいという意志だと受け取っている。今までなかったようなワークショップなど、子育て世代の意見も聞く意思表示だと受け取っている。目の前の子育てが忙しく、ワークショップの参加者は少ないが、これを続けていただくことによって市が意見を聞いてくれるということが浸透していくと思う。</p> <p>平田図書館がなくなるのは残念で、デジタル図書館とか、なんらかの対策をとっていただいているが、イベントをやっていると目の前にある本を気軽に手に取って、楽しみにしている子どもたちもたくさんいることを実感しているので、子どもたちが本に触れられるような機会が提供されればよいと思う。</p>
<p>健康福祉部長</p>	<p>やすらぎ会館の利用者数は、令和2年度2,467人、団体数では271団体。令和元年度では5,835人、団体数は574。令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響で閉館していることもあり少なくなっている。</p> <p>やすらぎ会館が子育て世代の施設に代わることで、これまでご利用いただいている団体の利用については難しいと思われるが、やすらぎ会館以外の施設をご利用いただくよう案内をしていく。</p>
<p>参加者E</p>	<p>利用率が下がったのは、やすらぎ湯を休業にしたことがある。休止の理由は市外からの利用者が多かったとされている。やすらぎ湯は温泉であり、使用していないと枯渇すると思う。海津と南濃にはそれぞれ風呂がある。廃止の方向か。</p>
<p>健康福祉部長</p>	<p>子育て世代の施設に転換していくので、施設については廃止であり、温泉も今後使う予定はない。</p>
<p>参加者D</p>	<p>いつ平田図書館を閉館するのか。こども図書館、図書館機能の一部が移転することは決定か。</p>

<p>社会教育課長</p>	<p>平田図書館の閉館は12月議会に上程をし、お認めいただければ、3月31日をもって閉館となる。こども図書館は進めていく方針。</p>
<p>参加者D</p>	<p>この2回の説明会では市民への説明が不十分である。平田図書館の閉館について、議会後ただちに以下について明示されることを要求する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平田図書館出入り口、内複数個所に閉館の案内 ・ブックポストの返却期限 ・平田図書館は、3年以内にやすらぎ会館内に図書館の機能の一部を移転するということを明示 ・コールセンターの電話番号 ・全自治会に（閉館の）回覧をされたい ・ホームページに下記を掲載されたい <ul style="list-style-type: none"> ・当市民説明会の概要をアップされたい ・説明会での質問、意見について概略または議事録、配布資料 ・コールセンターの電話番号
<p>参加者F</p>	<p>平田図書館の特徴は、子どもに関する図書が豊富である。これは市民の財産であるので、どこかで借りられる、閲覧できるようされたい。財産を眠らせておくのはいけない。新しい図書館ができるまで保管しますではいけない。使いたい人が使う、見たい人が見られるようされたい。</p> <p>風呂に関しても利用者が決して少なかった訳ではない。図書館についても市外の利用者が多かったと。市民にはこのような説明をされている。月見の里ではインバウンドとか言って市民だけでなく、市外から来てほしいと、海津の温泉だと売っている。市外からの利用は歓迎しているはずである。</p> <p>財政の問題もあると思うが、そのような理由で切っていくのはいかななものか。</p>
<p>市長</p>	<p>やすらぎ会館をリニューアルして、新しい施設への改修、この間の児童図書の活用については、使っていけるようにしていく。その他の図書についても、できる限り無駄な処分を行うことがないように、海津図書館やその他の施設に可能な限り図書を置けるようにしていきたい。</p> <p>市外からの利用者数を確保することは大切なことであるので、考えていきたいと思う。</p>